

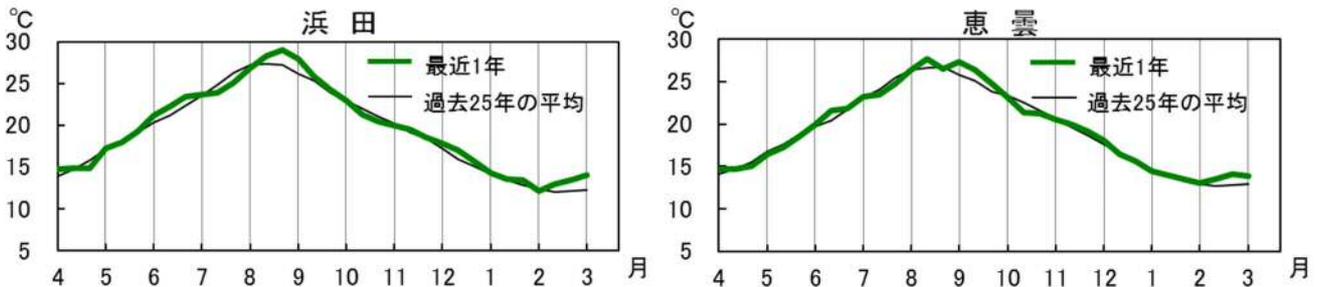


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《2月の海況》



2月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	12.8℃	+0.6℃	平年並み	13.5℃	+0.8℃
中旬	かなり高め			やや高め		
下旬	かなり高め			かなり高め		



《2月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は38.1トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は401トンで平年の1.1倍、マイワシは42.3トンで平年の6.4倍でした。隠岐地区ではサバ類、カタクチイワシ、ウルメイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は36.8トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は1,284トンで平年の5割、カタクチイワシは431トンで平年の20倍、ウルメイワシは220トンで平年の7割でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ（全体の98%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は733.1kgで平年を上回りました。西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体の99%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は59.4kgで平年並みでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではケンサキイカ、キダイ、マフグ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は11.2トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の8.9倍、キダイは平年の1.8倍、マフグは平年の2割でした。その他、カワハギ類は平年の2.1倍、アカムツは平年の1.7倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.1倍と好調でしたが、ソウハチおよびミズダコは平年の9割、スルメイカは平年の5割、ヒレグロは平年の4割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではアカガレイ、ソウハチ、ヒレグロ主体の漁況で、総漁獲量は217トンでした。1統1航海当りの漁獲量は1,284kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アカガレイは平年の8割、ソウハチは平年の9割、ヒレグロは平年の3割でした。その他、アンコウ類およびアカムツは平年の6割、ニギスおよびキダイは平年の5割、ミズダコは平年の4割、アナゴ・ハモ類は平年の3割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、スズキ、スルメイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は13.5トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の9割、スズキが1.9倍、スルメイカが3.0倍でした。石見地区ではクロマグロ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は0.9トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、クロマグロは平年の9.6倍でした。隠岐地区ではスルメイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は28.9トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、スルメイカは平年の2.1倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は74.2kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年並みでした。石見地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は33.5kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の9割でした。隠岐地区ではスルメイカ、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は43.3kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、スルメイカは平年の1.2倍、ブリは平年の1.3倍でした。

【令和3年2月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マイワシ	496トン	2234%	105%	38.1トン	1375%	100%	○
	隠岐	サバ類、カタクチイワシ、ウルメイワシ	2,171トン	55%	38%	36.8トン	76%	59%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	13.2トン	219933%	43%	733.1kg	12219%	224%	◎
	西郷	スルメイカ	1.9トン	119%	88%	59.4kg	93%	38%	○
沖合 底びき網	浜田	ケンサキイカ、キダイ、マフグ	235トン	93%	91%	11.2トン	79%	79%	▲
小型 底びき網	大田	アカガレイ、ソウハチ、ヒレグロ	217トン	55%	64%	1,284kg	115%	140%	◎
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、スズキ、スルメイカ	108トン	44%	79%	13.5トン	44%	79%	○
	石見	クロマグロ	3トン	12%	11%	0.9トン	12%	10%	▲
	隠岐	スルメイカ	58トン	109%	180%	28.9トン	109%	180%	◎
釣り・縄	出雲	ブリ	49.4トン	92%	106%	74.2kg	162%	164%	◎
	石見	ブリ	17.4トン	35%	58%	33.5kg	82%	108%	○
	隠岐	スルメイカ、ブリ	22.7トン	94%	138%	43.3kg	131%	139%	◎

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
 「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
 「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
 「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ